

埼玉県 ことも動物自然公園

動物園の春夏秋冬

年間を通じてさまざまなイベントが開催されています。季節限定で見ることができる動物たちの姿も必見です!

春

オーストラリアフェア

コアラやクオッカなどのふるさとしてあるオーストラリアにちなんだ料理の販売やイベントなどを開催します。

動物園の誕生日

5月5日は動物園の誕生日です。こどもの日にちなみ、小人(小・中学生)の入園料が無料になります。

ズーオリエンテーリング

園内に設置されたスタンプを集めながら、動物や植物などについて学ぶことができます。キーワードをすべて集めた人には抽選でプレゼントが当たります!

夏

なつやすみ宿題おたすけ隊

ワークシートの配布や飼育チャレンジ、ミニジオラマ教室など小学生の夏休みの宿題をサポートするイベントを開催します。

ナイトズー

開園時間が午後9時まで延長され、いつもとは違った動物園を楽しむことができます。夏の日中は木陰で休んでいたり、動きがゆっくりしていたりした動物たちも、夜には活発な様子を観察できるかもしれません。動物園オリジナルの巨大動物ランタンにもご注目ください!

ジャブジャブ池

お子様向けの水遊び場がオープンします。

秋

アニマルステージ

なかよしコーナーにいるヤギやインコなどの動物たちがもつ能力や、日頃のトレーニングの成果を野外ステージで披露します。

ZOO マルシェ

動物に関する雑貨の販売やワークショップが登場します。色々なケータリングカーの料理も楽しめます!

冬

カピバラ温泉

時期によってゆず湯やみかん湯、ほかにもユニークなお湯につかる姿が楽しめます。毎年1月には、ほかの動物園のカピバラ達とお湯につかる長さを競う「長風呂対決」も開催!

お正月イベント

動物園は1月2日から開園します。干支の引継ぎ式やジャンボカルタ大会など、お正月にちなんだイベントを開催します。干支の手ぬぐいや福袋なども毎年人気です。

バレンタインイベント

ペンギンヒルズやカワウソコーナーなどに、ハートのフォトスポットが登場します。バレンタイン限定の缶バッジなども販売します。

※開催時期や内容は変更になることがあります。

皆さん、埼玉県ことも動物自然公園を訪れたことはありますか? 広々とした園内には、国内ではここでしか会うことのできない「クオッカ」をはじめ、約160種の動物たちが暮らしています。今回の特集では、**見て・体験して楽しめる** 埼玉県ことも動物自然公園をご紹介します!



東園

- 19 コアラ・ナマケモノ・イワウラビー
- 20 カンガルーコーナー
クオッカアイランド
- 21 オーストラリア区の鳥
- 22 カピバラ・ウラビー広場
- 23 エミュー
- 24 シカとカモシカの谷

北園

- 1 キリンテラス・ハイラックス
- 2 ポニー・乗馬コーナー
- 3 シラコバト・ニホンキジ
- 4 コツメカワウソ・ぴよんぴよん村
- 5 なかよしコーナー
- 6 フクロウ・ニホンリス
- 7 フラミンゴ・ツル
- 8 乳牛コーナー・カンムリシロムク
- 9 マヌルロック
- 10 ミーアキャット
- 11 プレーリードッグ・ヤブイヌ
- 12 レッサーパンダ
- 13 小動物舎 eco/ハウチュー
- 14 ペンギンヒルズ・ブーズー
- 15 整備中
- 16 サイチョウ・このいけ
- 17 クジャク・シラコバト繁殖ゲージ
- 18 キツネザル



トクトクタイム

園内に入ったら、まずは入口にある「トクトクタイム」の看板を確認しましょう! 普段聞けないお話や、特別な体験ができるトクトクタイム。内容は当日までのお楽しみです。



公式オリジナルグッズ

動物園で暮らす動物をモチーフにした、公式オリジナルグッズを販売中!



埼玉県ことも動物自然公園
所在地 岩殿554
☎35-1234 ☎35-0248



動物園の SNS も要チェック! 動物園HPから見る
ことができます。

動物園の歩き方 園内1dayコース

広大な敷地の園内を巡るには、見たい動物や参加したい体験を事前にチェックしておくことが必須です！
今回は3つの園内1dayコースをご紹介します。ぜひご自身の好きな動物園の歩き方を見つけてください。

見て・触れて・学べる

体験満載コース

ウサギ・テンジクネズミのコンタクト(ふれあい) ⑤
どんな触り心地かな？優しくなでてあげましょう。



乳しぼり体験 ⑧
牛乳がどうやって作られるのか学んでみましょう。



ペンギンのランチタイム ⑭
食べ方をじっくり観察してみよう。飼育スタッフの「ペンギンのおはなし」もぜひお聞きください。



乗馬体験 ②
ポニーに乗って、揺れや体温を感じてみましょう。



ヤギのエサやり体験
上手にエサをあげられるかな？



のんびり巡ろう

ファミリー向けコース

キリンテラス ①
国内初の全面ガラス張り展示室が令和4年3月にオープン。キリンの大きさを間近で体感！



コアラ ⑱
5頭のコアラがのんびりと暮らしています(8月現在)。



クオッカアイランド ⑳



～彩ポッポに乗って移動～
彩ポッポに乗って、北園までレッツゴー！



乳牛コーナー ⑧
様々な品種の乳牛たちに出会えます。



なかよしコーナー ⑤
ヤギやウサギなど、親しみのある動物たちがお出迎え。モルモットの橋渡りも必見です！



園内一周！

ぐるっと満喫コース

カピバラ ⑫
他の動物園とのコラボレーション企画「スイカ早食い競争」に参加し、2連覇を達成中！冬には温泉に入るなど、様々な姿を見せてくれます。



シカとカモシカの谷 ⑭
丘陵の地形を生かした展示をしています。自然に溶け込むシカとカモシカ、見つかるかな？



こうのいけ ⑯
埼玉県東部の湿地帯に生息していたニホンコウノトリをはじめ、6種類の鳥を観察できます。



ペンギンヒルズ ⑭
野生での自然環境を再現。泳いだり歩いたり、ファンボルトペンギンたちの自由な姿をのぞいちゃおう！



ecoハウチュー ⑬
ネズミの仲間をはじめ小さな動物たちが暮らしています。お気に入りの動物を見つけてください。



コツメカワウソ ④
地面に体をこすりつけて寝転ぶ様子や、スロープを滑る姿は大人気！



ぐるっと満喫コースはここからカピバラへ移動

ここに注目！

動物園4大エリア

各エリアでは、動物たちの野生に近い暮らしぶりを観察できたり、大きさを間近に体感できたりと、それぞれの見どころがあります。飼育担当からのコメントにもごチュー目！

コアラ舎&クオッカアイランド

オーストラリアの愛らしい仲間たち

コアラ
起きているタイミングを狙おう！

寝ていることも多いコアラですが、エサのユーカリを交換する時には、活動的に動く姿が見られるかもしれません。

クオッカ
キュッとあがった口角と発達した顎によって笑っているように見えることから「世界一幸せな動物」として有名になりました。クオッカアイランドは7月にオープンから3周年を迎えました！



飼育担当 野口 真嗣さん

前あしを使うのが得意なクオッカ。思いっきり伸ばして高いところにある木の葉を取って食べる姿をぜひ見てください。コアラは寝ていることも多いですが、動いている時は意外と活発です。枝から枝へジャンプすることも！寝姿も個性豊か。いろいろな姿を見てください。

クオッカアイランド3周年！

ecoハウチュー

小さななかま、集合～！

スナネコ
ネコ科の動物のスナネコは、イエネコよりも小さくかわいらしい。しかしその見た目とは裏腹に、エサを仕留める姿は…



グンディ
岩場に群れて暮らしているグンディは、写真のように重なってくっついてる姿が特徴的です。



飼育担当 齊藤 香央梨さん

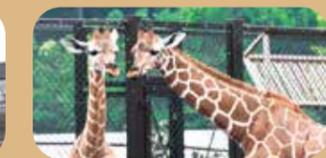
ecoハウチューは、げっし目の仲間をはじめとする小さな動物たちが暮らしている施設です。グンディやハダカデバネズミ、スナネコ、ウスイロホソオクモネズミなど個性豊かな動物たちを13種(7月現在)展示しています。国内で唯一見ることができると言われるビスカチャやチビフクロモンガにもチュー目です。

キリンテラス

キリンの大きさを間近で体感！



屋外の放飼場では、歩き回ったり、エサを食べたり、のびのびと過ごすキリンたちを見ることができます。



左側は3月に生まれた「アップ」。約3,500票の投票の中から名前が決定しました！



飼育担当 滝澤 靖人さん

国内初のガラス張り展示



キリンテラスはキリンに近づく体験を通して、動物ってすごいと感じてもらいたいことをねらいにつくられた、国内初のガラス張り展示です。ぜひキリンの大きさやにおいを間近で体感してみてください！

広報紙に連載中の動物ZOO鑑・植物ZOO鑑もぜひご覧ください！

特集に関する問合せ 広報広聴課 ☎21-1410 ☎22-5516

ファンボルトペンギン生態園 ペンギンヒルズ

世界最大級のファンボルトペンギン飼育施設



プールでは、プカプカと波に乗って泳ぐ姿や、スピード感のある泳ぎが見られます。



土を盛って作られた営巣地。巣箱や巣穴が設置されており、20羽以上のペンギンがここで生まれました。



飼育担当 須賀 志津枝さん

多くの鳥類には全身の羽が抜け新しい羽に生え変わる「換羽(かんう)」という時期があり、当園のペンギンは毎年7月～8月頃に換羽の時期に入ります。換羽前のペンギンは一年中同じ羽を使っている状態なので色が抜けてこげ茶色に見えますが、換羽が終わったばかりの9月頃には白黒のコントラストがきれいなペンギンが見られますよ！

※市民ZOOネットワークが、エンリッチメント(飼育環境の質を高めること)に取り組む動物園や飼育担当者を応援すると同時に、来園者である市民がエンリッチメントを正しく理解・評価することにより、市民と動物園をつなぎ、市民の動物園に対する意識を高めることを目指して実施しているものです。